

成田市国民健康保険運営協議会会議概要

1. 開催日時

平成27年7月30日（木）午後2時00分～午後3時05分

2. 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所議会棟 3階執行部控室

3. 出席委員

今井委員、丸委員、椿委員、小幡委員、若村委員、太田委員、
藤崎委員、富澤委員、木内委員、宇野澤委員、西山委員、込山委員、
小柳委員、秋山委員、大三川委員

4. 市側出席者

(執行部)

小泉市長、大木市民生活部長

(事務局職員)

保険年金課

山田課長、石橋主幹、内田給付管理係長、鈴木副主査、大橋主事
納税課

山田課長、宮野徴収係長

5. 議題等

(1) 会長の選出

(2) 報告事項

- ①報告第1号 平成26年度成田市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算（案）について
- ②報告第2号 平成26年度成田市国民健康保険特別会計（施設勘定）歳入歳出決算（案）について

6 議事（要旨）

会長及び会長職務代理者の選出については、会長に西山委員、会長職務代理者に小柳委員を選出する。

報告第1号、平成26成田市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算（案）について、事務局より説明する。

質問 国民健康保険税の不納欠損額の内訳を教えてください。

答え 執行停止によるものが20,058,301円、執行停止期間中に消滅時効にかかったものが58,407,295円、合わせて78,465,596円になります。

質問 23年度、24年度の一般会計からの繰入金の金額が知りたい。

答え 23年度は1,229,594,000円、24年度は1,035,953,000円になります。

質問 一般会計からの繰入金は恐らく上昇傾向だと思うが、それに伴う保険税額の見直しの時期はいつか。

答え 医療費の増額、高い年齢構成によって一般会計からの繰入金は増えている。先日、国保税の本算定を行なった。前年の保険給付の状況や制度外繰入金の状況を踏まえ、現在改正にむけて検

討中である。

質問 滞納による強制執行はされているのか。

答え 国民健康保険税の徴収対策として２段階で対応している。まず、滞納者との接触機会を増やすこと。次に、納付機会を拡充することである。様々な理由から納付できない場合、財産調査等を行い、納付資力や生活状況を把握したうえで滞納処分を執行している。

国保税に関する２６年度の換価額は 40,065,592 円、執行件数は 725 件。２５年度は換価額 32,743,443 円、執行件数は 581 件であった。

質問 特定健診の普及率と実施件数はどれくらいか。また、保険証の配付時にあわせて PR 活動を徹底して頂きたい。

答え ２６年度は対象者 24,318 人、受診者 7,509 人、受診率 30.9%。２５年度と比較すると、受診者は 219 人、受診率 0.8%とわずかながら増加している。

市民へのお知らせ方法として、５月１日付けの広報なりたで詳しい日程を掲載した。９月１日以降も受診勧奨を行う予定である。

報告第２号、平成２６成田市国民健康保険特別会計（施設勘定）歳入歳出決算（案）について、事務局より説明する。

質問 大栄診療所の運営は順調と伺っているが、なぜ今年は若干繰越金が少ないのか。

答え 資料2 ページ、翌年度繰越金は 1,800,821 円ですが、資料4 ページ、基金への積立金 6,949,846 円を積み立てたため、残った分を翌年に繰り越した。基金への積み立ては、出納閉鎖する前の3月末であるため、ある程度余裕のある額で繰り越している。

質問 昨年、財政調整基金の残高は 104,150,000 円だったが、今年度末はどのくらいか。

答え 25年度末残高の 104,157,211 円に、積立金と利子 6,949,846 円を積み立てて、111,107,057 円になります。

質問 使用回数を重ねることによって、保険証がかなり弱くなりやすいため、材質を変えることを検討して頂きたい。

答え 今後、市町村国保が広域化した際、統一した様式に切替わる。こういった様式になるか詳細は示されていないため、より加入者の方が使いやすいような保険証になるよう、要望等を国にあげたいと考えている。

その他で事務局より、保険税軽減措置の拡大と平成27年度国民健康保険事業計画について説明。

(質疑なし)

会議の概要は、以上のとおりです。

7 傍聴

1名

8 次回開催日（予定）

平成28年 2月